

手厚い支援を！ 子どもの聴覚障害

落合 信太郎 議員



乳幼児健診の様子

問 市で毎年700人の出生届があるが、聴覚障害の早期発見への取り組みは。

健康福祉部長 市内では3施設の産科医療機関で新生児聴覚スクリーニング検査ができる。平成24年度からの母子手帳やプレママ教室のテキスト等でも触れているほか、機会あるごとに保健師が検査を勧めている。**健康福祉部次長** 今後は赤ちゃん訪問の際にも勧める。また、定期健診時にも母親にお子さんの聞こえの状態を確認している。

問 日本産婦人科学会でも全新生児対象の聴覚スクリーニング検査を実施しないという早期発見は難しいという見解。聴覚スクリーニング検査の全額公費助成を強く求める。

健康福祉部長 新生児聴覚スクリーニング検査が大変重要だということは強く認識している。国の動きを注

視しながら、今後対応していきたいと思う。

問 市内小中学校でFM補聴器を使って授業を受けている児童は何人くらいいて、その補聴器は補助を受けているか。全額自己負担だと約30万円と大変高価だが、支援は考えていないか。

指導課長 市内に3人の児童が自費購入のFM補聴器を使用している。

市長 健全な人と同じように参画していくことが大事。FM補聴器についても何らかの補助制度を導入する方向で準備していきたい。

米ノ井下夕田地区の埋め立て

関戸 勇 議員



埋め立て場所付近の水たまり

問 米ノ井下夕田地区の埋め立て事業は終わったのか。まちづくり振興部長 埋め立ての工事自体は終了し、市の立ち会いのもと県の検査を行い、業者に指摘した。

問 埋め立て搬入路によって水田は大きな影響を受けた。早急に原状回復が必要。

建設部長 水田耕作者の方には大変ご迷惑をおかけした。水田の入り口は、当初の高さに戻したと聞いている。一部崩れている箇所は原因者負担が適正と考えるが、市も積極的に指導をお願いしていく。

問 素掘りの水路をコルゲート管に切り換えたため、このコルゲート管が詰まり、絶えず出てくる絞り水により、市民の方の敷地に水がたまっていて、改善を。

管理課長 業者がポンプを設置し、対応している。

問 コルゲート管を敷設して水路にし、その上に盛り土をするには、基礎を固めて、ゆがんだり、つぶれないようにする必要があったのではないか。

答 メーカーの資料では、10数層の盛り土でも持つという状況で、現状4層の盛り土であるので、十分対応されていると確認している。

問 水が通らなくなったら水害が起きる。起こらないようにしっかり対応を。

答 対応していく。

市長が考える市の将来像は？

市村 達明 議員

問 藤井市長の3期目がスタートした。市長選挙時にあった「取手市の新たなステージ」とは何か。市の将来像をどう考えるか。

市長 1期目は、筋肉質な自治体づくり。リーマンショックへの対応もあって行革中心。2期目は、健康増進と取手駅西口等の中心市街地再開発にめどをつけた。3期目は、「活力と創造」「健康と協働」この二つを置いた。人・まち・社会の健康や活力を、しなやかに引き出せる体制づくりのため、オール取手でつくっていく。これが一番の骨格。

問 具体的なもの。

政策推進部長 上野東京ライン開通による交流・定住人口の増加、企業誘致の推進。10月にはウエルネスプラザ開館によって取手駅前の活性化。さらに、3・4・3環状線開通による桑原地区の開発やウオーキングの展開など考えていきたい。

問 取手駅前、河川敷という自然を生かした駅周辺の環境整備をすべき。

都市整備部長 市にとって河川空間は大きな財産であり、回遊性を持つまちづくりは必要と考えている。

問 藤代駅前も整備すべき。

答 北口は、バスやタクシー、送迎車両の経路など安心安全に確保される必要があると考える。



完成間近の取手ウエルネスプラザ(取手駅西口)

東日本大震災から4年南相馬市の関わりは？

結城 繁 議員

問 取手市では震災の後、災害時相互応援協定を結ぶ南相馬市から避難者を受け入れているが、避難している方の現状は。

健康福祉部長 東日本大震災による被災者の方で、取手に避難されている方は27世帯72人、そのうち南相馬市からの方は14世帯35人である。

震災当時小学生だった子が現在中学生になり、祖母と3人で2部屋のアパートに住んでいて、手狭になっ

たという相談がある。応急仮設住宅はあくまでも災害救助法の中のものなので、安易に転居ができない。4年間の経過による若干の問題が出てきている。

問 南相馬市はまだ放射線量が非常に高い地区があるが、避難者が南相馬に戻るような意思や、戻れる可能性はどのくらいあるのか。

健康福祉部次長 茨城県や福島県と協議はしているが現時点で原発に近い方に関しては帰る見込みが立っていない状況。災害救助法に基づき支援も難しくなっている。今後の動向は注意して県と協議していく。

問 取手市から南相馬市へ1人の職員を派遣しているが、増員の要請などはきているのか。

人事課長 現時点で要請はない。



震災当時、避難者受け入れの様子(かたらいの郷)